

旭川文学資料館開館10周年記念・第22回旭川文学資料展

2019年6月11日(火)～9月7日(土)

旭川文学資料館 (旭川市常磐公園常磐館)

入館無料
開館時間:10:00～16:00
休館日:日・月・祝日

旭川が生んだ異端の作家

はっししょうしゅういち

八匠衆一展

人間はそれぞれいくつもの関係を持っている。
言い換えれば、いくつもの物語を曳きずって歩いているといってもいい。



写真提供/松尾彰久氏

コンクリート塀の中で一囚人であった主人公甚佐と女子収容区の看守部長順子は知り合い、二人は結婚する。精神的結合をのぞむ聖女のような順子と情欲的な動きをする甚佐。やがて順子は癌に侵され、同じ教会に属する医者が経営する大病院に入院するが、ぞんざいな扱いを受けてしまう。甚佐は最後の望みとして丸山ワクチンを打たせようと、なりふり構わず奔走する。その聖女との出会いと別れを描いた感動の長編三部作『地宴』、『海潮音』、『生命盡きる日』(平林たい子文学賞受賞作)。
その他、八匠衆一の特異な私小説世界を展示紹介いたします。

関連イベント

(企画展示室にて)

入場無料

記念講演会 8月3日(土) | 3時30分～

「八匠衆一の人と作品」 当館学芸員

主催:旭川文学資料館

【問合せ先】NPO法人旭川文学資料友の会

〒070-0044 旭川市常磐公園常磐館内 Tel/fax: 0166-22-3334